

研修会報告

2024年3月21日(木)14:00～15:30 ハイブリッド開催(セリオホール・Zoom)
第25回 医療・介護関係者による研修～地域で生きるために～

「食べる力を高める多職種連携」

“食べる力を高める”ために、理学療法士・管理栄養士をお迎えして学びを深め、多職種が「食べること」についてどう支えるかを考える研修会となりました。

13職種44名の方々にご参加いただきました。

座 長：神戸市西区歯科医師会理事 だいこく歯科医院 院長 大黒 博司 氏
講 師： 「安全に楽しく食事ができるための姿勢管理～理学療法士の視点～」
総合リハビリテーションセンター
地域ケア・リハビリテーション支援センター 課長 理学療法士 安尾 仁志氏
「美味しく食べる事をあきらめない」～栄養食事支援の実際～
兵庫県栄養士会
栄養ケア・ステーション所属 管理栄養士 三島 詩子氏



大黒氏・安尾氏・三島氏

《講演内容》

食事時の姿勢管理のポイント

- ・「安定」→「動きやすさ」
- ・踏ん張れる足底と安定した骨盤
- ・嚥下に適した頸部の角度を見る
- ・予防のために行うこと

- ・栄養とは？
- ・高齢者の栄養状態の現状
- ・入退院時の栄養食事指導における取組
- ・摂食・嚥下機能低下への取組
- ・訪問栄養食事指導 事例紹介
- ・令和6年度介護報酬改定について

《講演の要点 一部紹介》

- ・動きやすい姿勢は、不安定になる
- ・食事に適した座位姿勢
- ・円背からくる頸部のアライメントの影響
- ・食事介助の注意点は、しっかりと目線を合わせ、首の角度が重要

- 栄養食事指導を希望する際には
- ・通院先での外来栄養指導は、主治医に依頼
- ・訪問栄養食事指導のご相談は、兵庫県栄養士会へご連絡ください

《質疑応答：一部紹介》

Q：自宅で行える(姿勢管理)訓練について

A：口・舌回りを動かす運動。また、座位にて手・肩回りの作業を通して姿勢・首回りの緊張をなくしていく上肢の活動。家庭では楽しんで出来る「ボードゲーム」等取り入れては。

【成 果】(アンケートより一部抜粋)

- 薬剤師)・姿勢がいかに重要かよく理解できた
- ・食事の質がいかに大切かよく理解できた
- 看護師)・嚥下のメカニズムや姿勢の大切さがよくわかりました
- ・ヘルパーに調理、食事介助を依頼する際に、今日の内容を参考にしたい
- 歯科衛生士)・介護食は、身近にあるものを利用していいんだと分かりました
- ケアマネ)・姿勢の重要性、座り方の確認の大切さを学んだ
- ・退院後、在宅において栄養指導が入ることになったので検討したい
- 訪問介護員)・食事の姿勢管理の理論と体を動かしての体験で、理解しやすく勉強になった
- 通所介護職員)・食べることは、大事なことに“栄養”という点からしか考えてこれなかった気がします。美味しく、楽しく、食べていただくように考えていきたい